



木材造形科のグループ製作は、一旦完成し、個人製作の構想や図面設計に入っています。
グループ製作終盤の様子や、完成品についてご覧ください。
画像はスツールの貫を入れる穴の深さを計測しているところです。



オーバルボックスの天板や底板を接着後、サンドペーパーをあてています。
隙間がないように天板・底板を製作できました。



蛇腹の小箱の蛇腹部分を整えています。
今年の蛇腹の小箱には脚がついています！
蛇腹部分は背面をぐるっと山手線のように通り抜けるデザインです。



J39（椅子）の組み立て風景です。
旋盤で丸棒の加工をひたすら頑張っていました、ついに組立。



そしてJ39の枠部分完成。
座面は、座編み講習を受けてから取り掛かるので、一旦完成です。
別のグループが製作したCH53も一旦完成し、年明けの座編み講習まで保管されます。



ハイスツールです。脚に飾りのあるハイスツールも。グループ製作ですが、塗装はひとりひとり好みの塗装で仕上げているので、色合いが異なります。



ウルムツールです。
腰掛けですが、横に倒せば棚になり、ひっくり返して丸棒を持てば運び台にもなる便利家具です。



蓋つき小箱は、見て楽しい仕上がりになっています。
右下から時計回りにウォールナット、ブビンガ、栃、楓、アメリカンブラックチェリー、樺です。
小箱の奥にあるのは箱膳。
箱膳は12月から始まる漆実習で拭漆を施します。
グループ製作が終了し、訓練も折り返しを過ぎました。
引き続き、怪我や事故なく安全に取り組みましょう。